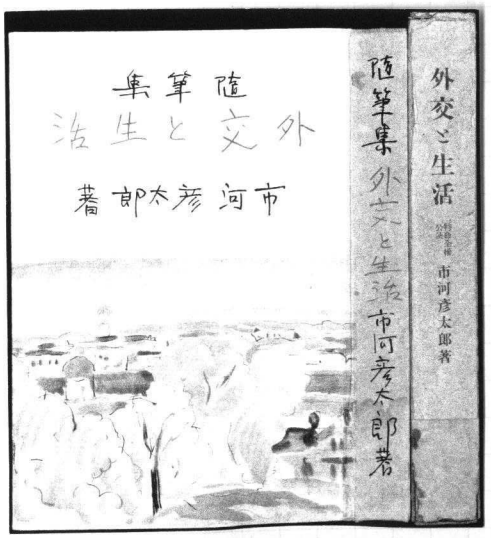


市河彦太郎 いちがわひさたろう 外交官。明治二十九年靜岡縣生れ、昭和二十一年歿（八九六―一九四六）。東京帝國大學法學部政治學科卒。外務省入省のち文化事業部第一課長として日本文化の海外宣傳等に當る。

著書に、『日獨文化協定のついで』（他二名合著、昭和十四年一月序、外務省文化事業部）『國際文化事業』。

「インレット」、『文化と外交』（昭和十四年九月）『白岡倉書房』、『インランド雜記』（市河および共著、昭和十五年二月）『黄河書院』、『外交と生活』（昭和十五年十二月）『五百京都・人文書院』等。



妻のトナリ（嘉代トモ）署名の『と文筆を能くし』、右記の共著を始め、詩集

『北歐に住むて』（昭和十五年七月十日昭林社）、『白種を焚く―北

歐日記』（昭和十六年一月）『白岡倉書房』、『葦の箱舟―舊約聖書

物語』（昭和二十二年十一月）『二十五日麗明書院』、『少女文學北歐の夢』

（昭和二十四年二月）『二十五日啓文館』、『フインランドの文化』（合

著・桑木務編、昭和二十六年四月二十五日北歐文化協會）『北歐文化叢

書』(一)『市河彦太郎』。